

# 笑顔咲く2244人



## 期待胸にキャンパスへ 今年から学群入学式2回

2008年度は、学類・専門学群の入学式を4月8日の午前中2回に分けて行う。第1回は9時半、第2回は11時半開始となっている。午後2時15分からは大学院の入学式を行う。会場はいずれも大学会館。より多くの学生と保護者が大学会館で入学式に参加できるように、今年度初めて学類・専門学群の入学式を2回に分けて行うことになった。

学群新生は8-10日にかけて、また大学院新生は9日に新生オリエンテーションを受ける。

(5-9面に学類・専門学群の入学者名簿)

# 筑波大学新聞

第268号

編集責任

筑波大学新聞

編集委員会

委員長 萩野祥三

TEL: 029(853)2040・6699

E-mail

shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所

筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 紙面から

入試変更 理教国際大会を選抜基準に  
つくばレポジトリ世界8位  
スターバックス 利用者に憩いの場提供  
冬季欧州柔道 秋本・栗野が優勝  
特設自由科目 学生が大学グッズを提案  
落語選手権 香車亭梅春が優勝

19 19 16 3 3 2

つくばMAP 10,11

抜き出せる大学周辺の地図

特集 12,13

身近に潜む危険

学生と大学で守るつくばの日常



## 筑波スタンダード 教育方針を公表 本学評価の指標に

### 本学評価の指標に

本学の学士課程における「筑波スタンダード」が完成し、3月27日に発表された。

「筑波スタンダード」は、本学の建学理念に基づき、現在学群・学類で実施されている教育の目標とその達成方法をまとめて明文化したものである。2004年の国立大学法人化に伴って作成された中期計画に盛り込まれ、策定が進められていた。在学生に対しては、「筑波スタンダード」を通して現在受けている教育の意味や方向性を再確認し、自分の所属する学群・学類における教育・支援内容がより把握しやすくなることを期待されている。また、企業をはじめ社会に対しても、本学卒業生を評価する指標として、「筑波スタンダード」が活用されることが期待できる。

内容は、学群・学類に共通する教育の目標およびその達成方法として、「教育システムと指導体制」、「カリキュラム」、「教育の質の持続的向上」の3点に關して方針が掲げられ、その概要説明がある。そして学類ごとのページでは、教育目標、「教育の内容・方法」、「達成すべき水準」、「教育の質の保証」の4項目について具体的な説明がなされているほか、卒業生の主要な進路も掲載されている。

「筑波スタンダード」は、今後も学内・学外双方の視点から内容の検討・修正を行い、毎年更新される。今年度は入学式後の学群オリエンテーションで、学類ごとに分冊された冊子が新生に配布され、その後在学生と教員にも順次配布される予定だ。

広報用ではないため一般に配布される予定はないものの、高校の指導教員や企業関係者に対しては、学類の判断で配布されることになっている。また、学群・学類共通の部分と学類ごとの部分を一つにまとめた冊子が、スチューデントプラザやつくばエキスポプラザ駅構内のインフォメーションセンターなどにも、閲覧用として設置されることになっている。本学のホームページにも掲載することを検討している。

### 筑波魂

優れた芸術作品は、多くの人を魅了し、感動させる力を持っている。芸術がなくては生きていくことはできないが、それでも日々の生活に欠かせないと感じている人は少なくないだろう。スペインのアルタミラやラスコーにある洞窟壁画は、今から1万年以上前の作品であり、文明の成立以前から、芸術が人間と切っても切り離せない存在であったことを示している▼本学には芸術専門学群が置かれているほか、大学会館にアートギャラリーがあり、定期的に制作展が開催されるなど、芸術に触れ合える機会は少なくない。しかし、実際に自分で作品を作ってみようと思っても、教えてくれる先生を探したり、場所を確保したりするのは容易ではない。一般の学生が芸術作品の制作をする環境は、充実しているとはまた言い難い状況にある▼本学では、今年度から「芸術」が共通科目として導入される。絵画はもちろんのこと、書や陶芸、デザイン、美術鑑賞学など、開講される科目は多岐に渡っているうえ、実習も充実しており、自分で作品を作ることすら可能だ▼私たちの多くは素人である以上、最初は納得のいく作品を作ることができないかもしれない。だが、やる気さえあればさまざまなことができる学生生活、たまには筆を持って絵でも描いてみるのはいかがだろうか。



# 平成21年度入試変更 理数国際大会を選抜基準に

## 国総はAC入試を廃止へ ほか4学類でも変更

本学は新たな入試方式として、「国際科学オリンピック特別選抜」の導入を決めた。また、国際総合学類でAC入試が廃止されることをはじめ、複数の学類で来年度の入試内容について変更があった。

「国際科学オリンピック特別選抜」では、生物学、数学など、理数科目に関する国際オリンピックに出場したり、その代表選考会において優れた成績を収めた学生を対象に特別選抜を行う。導入されるのは生物、数学、物理、化学、情報科学、情報メディア創成の各学類で、来年度から実施する。

同様の入試方式は、国立大学では大阪大学と岡山大学が、物理オリンピック出場者を対象とした選抜枠を設けている。一方、私立

大学では早稲田大学が特別選抜枠として、慶應義塾大学、中央大学などがAO入試の出願要件の一つとしてAC入試が廃止されることを定めている。今回導入される「国際科学オリンピック特別選抜」はこれらに続くものとなる。

出願資格は個別学力試験などと同様だが、AC入試との併願はできない。募集人員は各学類とも若干名。出願要件は、生物、数学、物理、化学の各学類では過去3年間にそれぞれの分野に該当する国際オリンピックで日本代表として選ばれているか、国内大会で優秀な成績を収めていること。

情報科学類と情報メディア創成学類は、日本情報オリンピック本選でAランクになったか、情報処理推進

機構が主催する、未踏ソフトウェア創造事業の未踏ユースに採択されたテーマの開発代表者であることと定めている。

出願にあたっては、志願票、エントリーシート、調査書のほかに、出願要件を満たしていることを証明する資料が必要となる。選考はエントリーシートに基づいた個別面接によって行うが、生物学類のみ書類審査による一次選考を行う。

来年度の選抜日程は9月上旬に出願、下旬に一次選考、10月に試験実施および合格発表、12月上旬に入学者手続となる。

また、AC入試について、国際総合学類では、09年度入試から実施されていた。しかし、「きめ細かく検討して時間をかける割に、他

の入試に入った学生と目立った違いがなかったため、来年度入試から廃止することに決めた。現在AC入試が実施されている他の学類では、来年度も引き続き実施する。

その他の学類では、後期日程が日本語・日本文化学類で廃止され、地球学類で再び実施される。その後期日程では、センター試験の利用科目は5教科7科目で、個別学力試験では小論文が課される。

看護学類では、前期日程の個別学力試験科目から理科が削除される。心理学類はセンター試験の利用科目から、従来の5教科5科目から5教科6科目に増加し、数学I・Aが必須科目になる。また、理科の選択科目から、理科総合A・Bが削除される。個別学力試験は選択科目として公民(倫理)、理科(物理II)、化学II、生物IIから一つ

の卒業式  
2238人が旅立つ

平成19年度の学類・専門卒業式が、3月25日午前10時から大会館講堂で行われた。春の訪れと共に、学群・学類生2538人、理療科教員養成施設から23人が巣立つの日を迎えた。

式は、本学管弦楽団の演奏するワグナーの楽劇「ニエルンベルク」のマイスター・ジンガー「第一幕」の前奏曲によって幕を開けた。続いて、岩崎学長から各学類・専門学群の代表者18人に学位記が、理療科教員養成施設の代表者に卒業証書が授与された。

岩崎学長は式辞の中で「若いときに、いろいろな文化、風土に触れることは、その後の人生に大いにプラスになることと思います。国際的な経験も視野を大きくし、異なる視点から物事が見えるようになるはずですから、ぜひ、自分から積極的

と付け加えた。文部科学省  
研究振興局研究環境・産業連携課長田口康氏は「大学  
組ではし」とコメント

全体が、ベンチャーを含む  
イノベーションなどに取り  
組むべき」とコメント

登大遊  
山海  
嘉之

と付けた。文部科学省  
研究振興局研究環境・産業  
連携課長田口康氏は「大学  
組ではし」とコメント

## ベンチャー研修会 山海教授らが思いを語る

本学と文部科学省主催の  
関東地区大学知的財産戦略  
研修会「大学ベンチャーの  
育成と支援」がゆうほうと  
(東京・品川区)で開催さ  
れた。本学からは講師とし  
て、CYBERDYNE株  
式会社代表取締役の山海嘉  
之教授(知機)、ソフティ  
ーサ株式会社代表取締役会  
長の登大遊氏(当時CSI  
年)ら本学関係者多数が出  
席。講師の他には、文部科  
学省や各大学、公的機関な  
どから、総勢131人が訪  
れた。

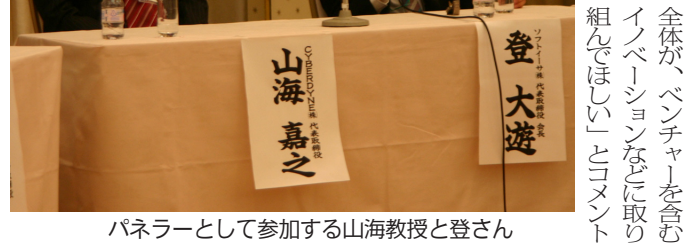
最初に、筑波大学のベン  
チャー実績や日本のベンチ  
ャー全体についての講演が  
行われた。産学官連携の重  
要性や可能性について述  
べ、更に課題と解決策を考  
えた。また、3つの大学発  
ベンチャーの代表者による

事例報告なども行われた。  
そこでは、各代表者が会社  
立経緯や事業内容、会社概  
要、そしてこれからの展望  
などを報告した。

事例報告には、株式会社  
つくばワイルドネスリサー  
チ代表取締役社長久野謙也  
准教授(体育)も参加。同  
社は科学的根拠に基づいた  
域・職域の健康づくりシス  
テムの構築に向けて活動し  
ている。

後半は「ベンチャーの育  
成と支援」というテーマで  
パネルディスカッションを  
実施。「今、ベンチャー  
にどのような支援ができる  
のか、その方策を探る」と  
いうサブテーマを軸に、  
5人のパネリストがベンチ  
ャーに対する思いや現状  
課題について議論した。

登氏は「収益ではなく、  
社会をどう作っていくの  
か、という考え方が重要な  
のではないかと、考えを  
述べた。また、山海教授も  
その意見に賛同し「新しい  
学問分野を創っていくん  
だ、という気持ちが大変



パネラーとして参加する山海教授と登さん

## 卒業式 2238人が旅立つ

平成19年度の学類・専門  
卒業式が、3月25日午前  
10時から大会館講堂で  
行われた。春の訪れと共に  
、学群・学類生2538人  
、理療科教員養成施設から  
23人が巣立つの日を迎え  
た。

式は、本学管弦楽団の  
演奏するワグナーの楽  
劇「ニエルンベルク」の  
マイスター・ジンガー「第  
一幕」の前奏曲によって  
幕を開けた。続いて、岩  
崎学長から各学類・専門  
学群の代表者18人に学位  
記が、理療科教員養成施設  
の代表者に卒業証書が授  
与された。

岩崎学長は式辞の中で  
「若いときに、いろいろな  
文化、風土に触れること  
は、その後の人生に大いに  
プラスになることと思いま  
す。国際的な経験も視野を  
大きくし、異なる視点から  
物事が見えるようになるは  
ずですから、ぜひ、自分か  
ら積極的に

けの言葉を贈った。  
卒業生代表謝辞では古川  
裕理さん(自然4年)が、  
情報の氾濫や環境汚染など  
現代社会の抱える問題につ  
いて触れ、「筑波大学で培っ  
た知性と感性と理性、そし  
て誇りを胸に、自分でき  
る最大限の責務を社会の中  
で果たしていきたい」と決意  
を新たにしています」と述  
べた。

また、午後1時半からは  
大学院の学位授与式が行わ  
れ、1770人が母校から  
の旅立ちを迎えた。

合格率97・4%  
医師国家試験  
厚生労働省は3月28日、  
医師国家試験の合格者を発  
表した。本学からは116  
人(内卒業生8人)が受験  
し、113人(同8人)が  
合格した。合格率は97・4  
%だった。

入試出題ミス  
合格に影響なし

本学は3月4日、臨時記  
者会見で平成20年度と19  
年度の入試各1科目で適正  
な欠出題があったことを発  
表した。

平成20年度入試の前期  
日程の「理科(化学)」に  
ついては問題の一部で複数  
の回答が得られるという指  
摘が受験関係者からあつ  
た。同科目は理工学群など  
4つの学群の選択科目に  
なっており、1600人が  
受験していた。

平成19年度の入試問題で  
問題となったのは平成18  
年11月に行われた医学群  
に努めることと意見が話し  
た。

工藤典雄副学長(教育担  
当)は「大学の信頼を損ね  
るものであり、再発の防止  
に努めることと意見が話し  
た。」

医学類入試  
地域枠を新設

茨城県の医師不足を解消  
するため、09年度から本学  
医学類に地域枠として5人  
の定員を設け、修学資金の  
貸与制度を新設することで  
2月末に本学と県が合意し  
た。

茨城県は、人口10万人あ  
りの医師数(06年末時点)  
が、155・1人と、全国  
平均221・7人を大きく  
下回り、全国で7番目に少  
ない。地域枠は、この状況  
を解決することを目的とし  
ている。

修学資金の貸与制度で  
は、県から修学資金の貸与  
を受けることができる。大  
学卒業後9年間、県が指定  
する県内の病院で働くこと  
を条件に返済が免除され  
る。修学資金の額は今後検  
討するが、他県の医学生へ

教授らに処分  
実験データ改ざん

本学数理物質科学研  
究科の長照二教授らが、  
2006年に米国物理学会  
誌に発表した論文が、核融  
合に関する論文において、  
実験データの改ざんを行っ  
ていたことが3月6日、本  
学から発表された。

長教授と論文の共著者で  
ある3人の講師は、実験に  
よって得られたデータを都  
合良く組み合わせるなど  
し、研究不正行為である実  
験データの改ざんを行った

6人が追試験  
大学入試

本学の平成20年度前期試  
験が2月25、26日、後期試  
験が3月12日に本学キャン  
パスで実施された。

志願状況は前期試験の最  
と見られる。

本学プラズマ研究セン  
ターで研究を行っていた複  
数の大学院生などが、06年  
の11月から12月にかけて  
長教授らが行ったデータ解  
析に不適切な点があると他  
の教員に訴えたことを契機  
に発覚した。

長教授は本学のプラズマ  
センター長を3月6日付け  
で解任され、今後の処分は  
教育研究評議会が審議され  
る予定。また、問題となっ  
た論文についても、同じく  
3月6日付けで取り下げを  
勧告した。

27点が被害に  
パソコン盗難

2月中旬、本学の総合研  
究棟D棟でパソコンの盗難  
事件が発生した。

事件があったのは15日の  
授業終了後から18日の朝ま  
での間で、学生が卒業論文  
などで使用していたノート  
パソコン9台の他、デジタ  
ルカメラ、プロジェクター  
など27点、約169万円相  
当が盗まれた。

18日午前9時25分、学生  
から被害を聞いたD棟事務  
職員が警察に通報した。市

菅野三郎氏(かんの)  
さぶろう 本学名誉教授  
2月17日死去、91歳。

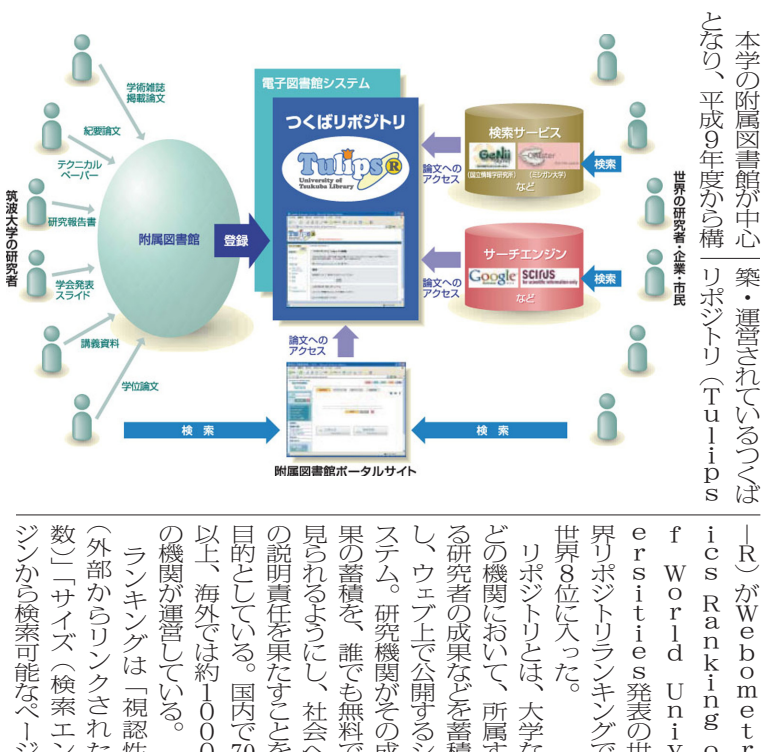
1947年東京文理科大  
卒。50年東京高等師範学校  
助手、52年東京教育大助手、  
58年理学博士、64年東京教  
育大助教授などを経て74年  
本学教授。80年上越教育大  
教授、91年本学名誉教授  
95年上越教育大名誉教授  
92年勲三等旭日中級受章。



学術情報提供システム

つくばリポジトリ世界8位

研究成果をネットで配信 国内ではトップに



本学の附属図書館が中心・築波運営されているつくばリポジトリ(Tulips)は、平成9年度から構築され、世界研究者・企業市民のWorld University Rankings発表の世界リポジトリランキングで世界8位に入った。リポジトリとは、大学などの機関において、所属する研究者の成果などを蓄積し、ウェブ上で公開するシステム。研究機関がその成果の蓄積を、誰でも無料で見られるようにし、社会への説明責任を果たすことを目的としている。国内で70以上、海外では約1000の機関が運営している。ランキングは「視認性(外部からリンクされた数)」「サイズ(検索エンジンから検索可能なページ数)」など4項目を総合して算定された。また、ランキングにおいてつくばリポジトリは国内で1位。他に国内でリポジトリを構築している機関では早稲田大学(世界82位)、京都大(同11位)などがある。つくばリポジトリは、公開されているコンテンツがGoogleなどの検索エンジンから検索できるというバリアフリーなアクセスを特徴としている。

講演は3部構成で、第一部では、つくば中央警察署刑事官警視の小林昭秀氏が「犯罪の現状と防犯対策」というテーマで講演。実際に使われる道具などを用いながら、犯罪について話した。第二部では警視庁警ら部長を経験し、現在は株式会社社務研修社取締役会長の日本テレビ客員解説員の田宮栄一氏が「治安回復は健全な家庭の構築から」というテーマで講演した。田宮氏は治安悪化の要因の一つとして、



田宮氏はテレビ番組にも多数出演

- 【学長特別補佐】石田東生(社シス)
【博士課程研究科】(ビジネス科学研究科) 科長 山田秀(国経)
(人文社会科学研究科) 歴史・人類学専攻 科長 古家信平
▽現代語・現代文化専攻 科長(前・後期) 川那部保明
▽国際公共政策専攻 科長(前・後期) 前川啓治
▽経済学専攻 科長(前・後期) 小畑二郎
▽法学専攻 科長(前・後期) 國分典子
▽国際地域研究専攻 科長(前期) 遅野井茂雄
▽国際日本研究専攻 科長(後期) 辻中豊
▽企業経営学専攻 科長 弥永真生
(数理物質科学研究科) 数学専攻 科長 宮本雅彦
物理学専攻 科長 金信弘
知能機能システム専攻 科長 水谷孝一
▽構造エネルギー工学専攻 科長 山田恭一
(生命科学環境科学研究科) 生物科学専攻 科長 橋本哲男
▽生物資源科学専攻 科長 瀧川具弘
▽生物圏資源科学専攻 科長 奥野員敏
▽生物機能科学専攻 科長 佐藤誠吾
(人間総合科学研究科) 副研究科長 菊地正(心理学専攻)
▽フロンティア科学専攻 科長 岡村直道
▽教育学専攻 科長(前期) 窪田眞二
▽教育基礎学専攻 科長(後期) 窪田眞二
▽学校教育学専攻 科長(後期) 田中統治
▽心理学専攻(前期) 田中統治
▽心理学専攻(後期) 茂呂雄二
▽障害科学専攻 科長(前・後期) 園山繁樹
▽生涯発達専攻 科長(前期) 飯島節
▽発達科学専攻 科長(後期) 小玉正博
▽感性認知科学専攻 科長(前・後期) 久野節二
▽体育学専攻(前期) 中川昭二
▽体育学専攻(後期) 中込四郎
▽ヒューマンケア科学専攻 科長(後期) 宗像恒次
▽スポーツ医学専攻 科長(後期) 鮫坂隆一
▽生命システム医学専攻 科長(医学4年) 永田恭介
▽疾患制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽スポーツ健康システム・マンスメント専攻 科長(修士) 吉田章
▽芸術専攻 科長(前期) 中村伸夫
▽学校教育学専攻 科長(一貫制) 田中統治
▽心理学専攻(一貫制) 茂呂雄二
▽心身障害学専攻 科長(一貫制) 園山繁樹
▽ヒューマン・ケア科学専攻 科長(一貫制) 宗像恒次
▽分子情報・生体制御医学専攻 科長(医学4年) 永田恭介
▽病態制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽機能制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽体育科学専攻(一貫制) 中込四郎
【修士課程研究科】 地域研究研究科 科長 遅野井茂雄(現公)
▽体育研究科 科長 中川昭二
【学群・学類】 (人文・文化学群) 比較文学専攻 科長 畔上泰治(現中込四郎)

【全国共同利用施設】 プラズマ研究センター 今井剛(物理専攻)
【学内共同教育施設】 外国語センター 長 伊原大策(現公)
▽菅平高原実験センター 長 沼田治(構造生物)
▽留学生センター 長 渡邊和男(生命産業)
▽遺伝子実験センター 長 江面浩(生物圏)
▽特別支援教育研究センター 長 藤原義博(心障)
▽北アフリカ研究センター 長 中嶋光敏(地縁技術)

【学長特別補佐】 石田東生(社シス)
【博士課程研究科】 (ビジネス科学研究科) 科長 山田秀(国経)
(人文社会科学研究科) 歴史・人類学専攻 科長 古家信平
▽現代語・現代文化専攻 科長(前・後期) 川那部保明
▽国際公共政策専攻 科長(前・後期) 前川啓治
▽経済学専攻 科長(前・後期) 小畑二郎
▽法学専攻 科長(前・後期) 國分典子
▽国際地域研究専攻 科長(前期) 遅野井茂雄
▽国際日本研究専攻 科長(後期) 辻中豊
▽企業経営学専攻 科長 弥永真生
(数理物質科学研究科) 数学専攻 科長 宮本雅彦
物理学専攻 科長 金信弘
知能機能システム専攻 科長 水谷孝一
▽構造エネルギー工学専攻 科長 山田恭一
(生命科学環境科学研究科) 生物科学専攻 科長 橋本哲男
▽生物資源科学専攻 科長 瀧川具弘
▽生物圏資源科学専攻 科長 奥野員敏
▽生物機能科学専攻 科長 佐藤誠吾
(人間総合科学研究科) 副研究科長 菊地正(心理学専攻)
▽フロンティア科学専攻 科長 岡村直道
▽教育学専攻 科長(前期) 窪田眞二
▽教育基礎学専攻 科長(後期) 窪田眞二
▽学校教育学専攻 科長(後期) 田中統治
▽心理学専攻(前期) 田中統治
▽心理学専攻(後期) 茂呂雄二
▽障害科学専攻 科長(前・後期) 園山繁樹
▽生涯発達専攻 科長(前期) 飯島節
▽発達科学専攻 科長(後期) 小玉正博
▽感性認知科学専攻 科長(前・後期) 久野節二
▽体育学専攻(前期) 中川昭二
▽体育学専攻(後期) 中込四郎
▽ヒューマンケア科学専攻 科長(後期) 宗像恒次
▽スポーツ医学専攻 科長(後期) 鮫坂隆一
▽生命システム医学専攻 科長(医学4年) 永田恭介
▽疾患制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽スポーツ健康システム・マンスメント専攻 科長(修士) 吉田章
▽芸術専攻 科長(前期) 中村伸夫
▽学校教育学専攻 科長(一貫制) 田中統治
▽心理学専攻(一貫制) 茂呂雄二
▽心身障害学専攻 科長(一貫制) 園山繁樹
▽ヒューマン・ケア科学専攻 科長(一貫制) 宗像恒次
▽分子情報・生体制御医学専攻 科長(医学4年) 永田恭介
▽病態制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽機能制御医学専攻 科長(医学4年) 大河内信弘
▽体育科学専攻(一貫制) 中込四郎
【修士課程研究科】 地域研究研究科 科長 遅野井茂雄(現公)
▽体育研究科 科長 中川昭二
【学群・学類】 (人文・文化学群) 比較文学専攻 科長 畔上泰治(現中込四郎)

【組織の略称】 大学院再編に伴い、本紙は教育組織の略称を次の通りとします。
【人文社会科学研究科】 現代語・現代文化専攻(現) 国際公共政策専攻(現公) 経済学専攻(経済専攻)
【学群】 学群長 堀和郎▽比較文化学専攻(現) 国際地域研究専攻(国地) 国際日本研究専攻(国日)
【人間総合科学研究科】 教育基礎学専攻(教基) 障害科学専攻(障科) 生涯発達専攻(生涯) 生涯発達科学専攻(生涯科) 体育科学専攻(体科) 生命システム医学専攻(シス医) 疾患制御医学専攻(疾患) スポーツ健康システム・マンスメント専攻(スポ健)

利用者に憩いの場提供 開店時には行列も

中央図書館のエンタランスホールにスターバックス(本社東京・渋谷区)が3月18日にオープンした。当日は午前9時からオープンセレモニーが行われた。テープカットには腰塚武志副学長(学生生活担当)や植松貞夫附属図書館長、全代会議長らが参加した。セレモニーの時には集まった人に試飲のコーヒーやドーナツが配られた。オープンは客が列をつくり、店内にある35席が埋まった。スターバックスの岡野祐子さんは「図書館という場に見合ったサービス



新たなくつろぎの場としてオープンした

の耐震工事に伴って図書館の出入り口が封鎖される可能性があるが、工事内容が不確定なため、現在どこまでできるか営業を続けていく方針だ。

ゆりのき保育所 17人が新たに入所 保育士増も検討に



ゆりのき保育所の子供たち

一昨年12月に追越地区に開所したゆりのき保育所の新規入所者が決まった。今年度の新規入所者数は月極保育者と一時保育者を合わせ、17人となった。退所者はおらず、定員80人の保育所は入所者のほとんどが0〜2歳の子もたちだ。3歳児以上は少なく、また入所枠に余裕がある。来年、再来年次には学年の進行に伴い、徐々に学年ごとの入所者数がバランスの取れたものになると予想される。人事課は「現在12人で保育をしているが、入所者の増加に伴い、保育士を増やすことも検討していきたい」という。



読者からの意見

大学にスターバックスは必要か

本紙267号で津田幸男教授(現公)から「大学にスターバックスは必要か」という問題提起があった。それに対し数件の意見が寄せられた。スターバックスは3月18日にオープンしたが、本紙では引き続き読者からの意見を期待している。

グローバル化に深い考察を

千葉洋平(当時教育専攻2年)

スターバックスを大学に「建設する」ことについて私は反対でも賛成でもありませんが、先日の津田先生の記事への返答という形で私見を述べるとともに、大学におけるグローバル企業参入を排斥するのではなく、グローバル企業に関する深い考察が必要なることを強調したいと思えます。

まず問題にすべきことは、市場原理もしくは資本主義の影響が浸透していない部分、現代に存在しているかということです。そして、私たちが「大学」は崇高な場で、「俗」を排除するべきと思っていることこそが、資本主義下の学問と功利主義のわいせつな繋がりを見失わせている気がします。日常の社会的・文化的側面は、功利主義に影響を受けており、その功利を決定するのが資本主義において市場原理であることが、抗おうとしても抗えない現代の状況であると理解しています。

資本主義下の社会における「学問」は、資本主義システムを補強する重要な装置として機能し得ます。高学歴を得るには高資金が、資金の為に労働が必須で



春休み中でも客足が絶えない

影響に引けを取ることを象徴するものであり、このことを素直に受け入れてはどうでしょうか。学内の誰もがスターバックスを買いだめし、大学での経営が機能しなくなると初めてグローバル化に対する知識による抵抗があったと言えないでしょうか。そこで、出発点としてアメリカ文化、グローバル化とは何か、という問いかけから始めてはどうでしょうか。確かに支配的な文化に対し距離を置き、批判的に見ることは大切です。商業主義や消費主義から、過剰な消費と利己主義精神を私たちが素直に受け入れることは危険されます。しかし今、これらの精神は「アメリカ」というラベルを貼られていますが、果たしてアメリカの精神を表象しているのでしょうか。「アメリカ」というラベルで相手を対象化してしまつて、

世界で不可視化されているグローバル化や複合企業が引き起こす問題を見過ごしているように思えます。日本も様々な形で文化を輸出しており、輸出先で様々な影響を与えています。むしろ輸出をしない経済が成り立たない日本こそが、アメリカという名前を流用し責任を逃れ、グローバル化の流れに従属しているように思えます。今では「日本はアメリカの植民地」と言えるようなシニカルな距離が逆にイデオロギーとして機能し、消費・

喫茶店を交流の場に

ジャメイン・ハワード(国公1年)

学生として、YESしか言えません。私が記事を読んだときに、スターバックスがアメリカの汚染だと書かれているように感じました。確かに記事のすべてを否定することはできませんが、単純に考えて、学生はお茶やコーヒーが好きでスターバックスのような便利な場所ができてほしいと思っています。私の友達は何回も「キャンパスに喫茶店があったらいいな」と言っていました。それがスターバックスだったたり別のチェーン店、または個人経営の喫茶店であるかどうかは気にしないかと思えます。スターバックスを設置することは、大学が商業主義を後押しするということではないかと思えます。記事では消費文化やゴミ

輸出を楽しみつつグローバル化に流される時に気づく私たちの罪悪感を「アメリカ」に転移しているような気がします。私たちが、学問の場でグローバル化という問題について考えるのであれば、スターバックスのような大企業だけが成長し、コーヒー市場に多大な力をもつことが危ぶまれますし、いかにスターバックスが努力しても大企業になれば必然的に生じる問題もあります。スターバックスは「Fair Trade」で設定された料金を取引していると言っていますが、「Fair Trade」という言葉も今では内容を伴わない傾向にあり、コーヒー農園の農民に設定された料

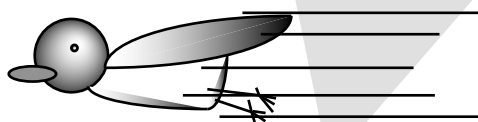
大学新聞で世界を広げよう!!

大学新聞の仕事—企画から発行まで—

- ①企画 取材内容を考えて仕事の分担を決め、予定を立てます。
- ②取材依頼 教授やスポーツ連盟などに電話、FAX、メールなどで連絡を取ります。
- ③取材・写真撮影 編集会議で決まった企画、記事について各自取材を進めます。話を聞いて質問したり写真を撮ったり、内容はさまざま。
- ④原稿執筆 取材した情報を基に原稿を執筆します。記者の一大仕事!
- ⑤原稿チェック 編集長・副編集長が原稿をチェックし、推敲していきます。場合によっては再取材も。
- ⑥割付 実寸大の紙で新聞のレイアウトを決めていきます。紙でレイアウトした通りにパソコンの「インデザイン」というソフトで紙面を組みます。
- ⑦発行 自分で書いた記事が新聞になって発行されます。

新人記者急募!!

大学新聞はいつでも誰でも  
新人記者をお待ちしています



私はアメリカがある種のコーヒーに関する日本の文化的な帝国主義を強制していること、それが少し奇妙だとも思っています。人々がどの店や自動販売機からコーヒーを買ってもそれは個人の自由です。しかし少なくとも他の一般的な企業と比べてCSR(企業の社会的責任)のリーダーであるスターバックスは世界中の多くの人々に恩恵を与えていると思えます。私たちは、喫茶店がコミュニティの中心であり人付き合いを円滑にするものであることに注目すべきです。私は筑波大学にはそのような場所が欠けていて、簡単な喫茶店の設置が手!。ひと昔前、女子フットボール部の新入生募集と考えています。難しい議論をするよりも簡単な話だと思えます。ただコーヒーが欲しいだけなんです。「いまなら誰でもトップ記者!」



中村 紀一

少数精鋭の編集室  
君の発想と才能を  
前大学新聞編集委員長  
筑波大学名誉教授



荻野 祥三

多くの人と出会い  
人間力を磨こう!  
大学新聞編集委員長  
元毎日新聞社記者

編集会議：毎週月曜日午後6時半～  
場所：共同研究棟A104  
TEL：029(853)6699  
E-mail：shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
WEB版：http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/website/  
ブログ：http://daigakushinbun.blog37.fc2.com/



# 学生と大学で守るつくばの日常

事故や事件は、いつ我が身に降りかかるかわからない。学内には学生を危険から守るため、日夜尽力している人々がいる。しかし、安全に大学生活を送るには一人ひとりの注意が欠かせない。4月を迎え、今一度、安全について見直す。(本紙・馬野裕子Ⅱ社会学類、篠崎真希Ⅱ国際総合学類、柏零Ⅱ社会学類)

## 事件・事故

午後6時40分、土浦にいた学生生活課職員の携帯が鳴る。学内の防災センターから大学周辺で学生が事故を起こしたという知らせがあった。それを聞いて職員は現場に急行する。

午後7時、現場に到着。誰が、どのような事故を起こしたのか聞き、現場検証に立ち会う。事故を起こしたのは学生4人が乗る車。学外の人も巻き込まれたらしい。現場検証が終わるの午後8時20分を回っていた。その後、怪我をして病院に運ばれた学生のもとに向かう。怪我の程度や、事故の状況を学生からも聞く。

## 勤務外も事件に対応 時には親代わりに

は急性アルコール中毒。深夜でも、学生が病院に運ばれると自宅に連絡が入る。病院へ行き、点滴で済むようなら付き添いの人に任せられるが、深刻なケースも少なくない。その場合、大学に戻り親の連絡先を調べて電話をする。大抵親が来る。

付き添う間、突然の不幸に動揺している親に対しては、一挙一動に気を遣うという。時には親のつらい気持ちや伝わり、仕事をしながら涙が止まらないことがある。葬儀が終わった後も、裁判や大学を辞める手続きなど親とのやりとりは続く。



事件や事故の知らせて現場に急行する

昨年1年間、このように一人の職員が勤務時間外に現場に向いた回数は、20回を軽く超えた。これまで学生支援に熱心なのは筑波という特殊性による。交通が不便なため、学内に約4000戸の寮を持ち、ほとんどの学生が大学周辺で暮らしている。事件や事故も大学周辺に集中し

時には大学に一報が入る。いつ呼び出しがかかるかわからないという状況でも職員の上野さんは「苦労はあるが、やりがいや誇りを感じている」と言う。学生生活課の学生支援チームの6人はいつも「自分が学生だったら」と考え、学生と向き合おうとしている。

事件・事故は自分が当事者になって初めて後悔する。学生生活課職員は「絶対に巻き込まれたくない」という意識が、おのずとちょっとした安全確認や鍵の二重施錠などに表れてくると学生に語りかけている。

## 新歓トラブル

毎年、4月から5月にかけて、大学周辺で多くの新歓イベントや各学部の歓迎会が行われる。しかし、新歓期間にはトラブルも多い。短時間に多量のアルコールを摂取することで起こる急性アルコール中毒は、その一つだ。昨年も、4月末までに5人の学生が急性アルコール中毒で病院に搬送された。嘔吐や記憶力の低下、立つことが出来ないなどの運動機能障害が主な症状で、悪化すると、昏睡状態に陥り、最悪の場合は死亡に至る。

新入生の多くは、新歓コンパのようなイベントを体験したことがない。そのため、雰囲気の流れに許容量を超える飲酒をしてしまったり、危険な症状を見逃してしまったりすることがある。それが急性アルコール中毒の原因になる。また、アルコールに弱い体質の人や、酒を勧められることを不快に感じる人もいる。上級生は、悪意がなくても、自分の行動がトラブルにつながることを自覚することが重要だ。

## 飲酒が招くトラブル

## 上級生も行動に自制を

新歓イベントは、決して悪意があって行われるものではない。しかし、新歓イベントで上級生が新入生に飲酒を勧め、急性アルコール中毒などを引き起こす場面もあり得る。新入生の多くは未成年なので、飲酒は違法になる。また、アルコールに弱い体質の人や、酒を勧められることを不快に感じる人もいる。上級生は、悪意がなくても、自分の行動がトラブルにつながることを自覚することが重要だ。

## 被害者の声

総務課では、「一般の学生に、もっとセーフティプロジェクトの活動に参加してほしい」と希望する。大学側が努力しても、学生に伝わらなければ十分な効果が得られない。学生の意識を喚起する工夫も必要だと考えている。

大学側も、セーフティプロジェクト以外に交通安全指導を行ったり、暗く危険な箇所への街灯設置などを市に要望したりしている。が、大学側の取り組みだけで安全を確保できるわけではない。カギを閉める、夜歩きしない、交通ルールを守るなど、学生一人ひとりの意識で身を守れることもある。当たり前だが、できていない学生が多い。このようなことを積極的に意識して実行することが、非常に重要だ。大学側が開催する企画に参加することも、自分の身を自分で守ることに繋がるといえる。

## 自宅に不審者が侵入 事件がトラウマに

## 事件がトラウマに

多くの学生が本学に入学後、親元を離れて生活する。自分の身を守るには自分だが、それでも予期せず事件の被害者となってしまふケースがある。実際に被害者となった学生の話を紹介する。

昨年6月、女子学生の自宅に見知らぬ男が侵入し、体を触る事件が発生した。飲み会後、仲の良かった先輩とアパートへ戻り、部屋で話していたが酔ってしまっただけで、先輩は帰った。午前3時半頃、体を触られる感覚で目を覚ますと男が立っていた。男はすぐに逃げ出し、自分も後を追いかけたが、外にはもう誰もいなかった。部屋に戻ると突然恐怖に襲われ、警察に電話したが、家の住所を間違えるほど動揺していた。事件から一カ月ほどが大



巻き込まれて初めて不注意を後悔する

人かもと頭をよぎる。夜だけでも相当な恐怖を感じる。事件から2カ月経たぬうちに別のアパートに引っ

## セーフティプロジェクト

本学には、吉武博通リーダー(総務担当副学長をはじめ)と、総務課を中心となって行っている、セーフティプロジェクトという



10月に行われた交通安全指導(第一エリアで)

フティプロジェクトというものがある。その名の通り、学内の安全を守るための試みだ。プロジェクトは大きく分けて広報・情報共有、建物内防犯対策、防犯パトロールの3つのタスクに分かれている。

## 安全を守るパトロール

## 防犯企画に参加促す

勧誘トラブルに関する専門家を呼ぶなどしたが、学生の参加者は少なかった。建物内防犯対策では、主に事故や事件があった場所の状況を確認し、改善すべき事項を取りまとめ、注意喚起を行っている。2月に

防火運動などに対して注意を呼びかけている。10月と12月のパトロールの際には、市職員も参加。この取り組みでは、一般の学生ボランティアも参加しているが、年間を通して学生の参加は

人かもと頭をよぎる。夜だけでも相当な恐怖を感じる。事件から2カ月経たぬうちに別のアパートに引っ

が勧誘を行うこともある。昨年には、宗教団体「摂理」がサークルを装って新入生を勧誘し、本学生も所属していたことが明らかになった。もし、そのような団体の勧誘を受けても、名前や電話番号、携帯アドレスなどの個人情報は決して教えず、はっきりとその場で断ることが大切だ。

新歓イベントは、入学して、浮かれ気分の時に開かれる。そのため、注意を怠ってしまつことも多く、毎年トラブルが起きている。また、上級生も新入生がトラブルに巻き込まれないよう、新歓イベントでは十分に気を付ける必要がある。そのことを心に留めて、トラ

新歓時期には、サークルを未然に防ぐことが重要ではないだろうか。

越した。彼女は「自分は大丈夫という思いが良くない」と語る。暑いため窓を開けっぱなしにすることをあつたが、事件後は一切はなくなった。

当時春日四丁目では似たような事件が3、4件起こっており、犯人が捕まっていない事件もある。

本学が詐欺事件に巻き込まれるケースもある。昨年8月、男子学生の元に法律事務所から手紙が届いた。内容は、通販の支払い振り込みの未納を知らせるものだった。本人は実際に通販を利用しており、心当たりがあったため不安を感じた。

確認すると、請求額が58万円と高額だったため電話をした。すると弁護士を名乗るものが、高額請求は裁判の取り下げ費用だと説明した。被害者がすぐに用も、人に相談することが必要だと言つと、消費











ダンス公演

思い出抱き卒業生ら舞う

全国大会入賞作を披露

身体表現の楽しさを伝える

本学の舞踊研究室が主催による卒業ダンス公演が2月13日、大学会館講堂で行われ、舞踊実技理論・実習・ダンス上演技法などの受講生や体育、体育の有志学生ら約100人が参加した。



10人の卒業生の集大成となる舞台

芸術卒業制作展

300点近くを展示

巨大な書道作品も

芸術専門学群および芸術学部の卒業生らによる、筑波大学芸術学群卒業制作展が、2月5～24日にかけてつくば美術館(つくば市吾妻)で開催され、5000人以上が訪れた。

主催者の一人の成瀬麻美さん(当時専修4年)は、多く表現する楽しさを知る機会となった。

原点 GEN-TEN

初めての就職は看護師として未熟児集中治療室であった。生まれながらに障害を持った赤ちゃんや両手の平に納まる程小さな早産児を、せつなく生まれてきて、呼吸することさえ大変な赤ちゃんが多かった。

ここで助産師学校に入学し直し、助産師の資格を取った。妊産婦のケアは楽しかった。出産シーンに立ち会ったのは助産師だからできることであり、生命の誕生の偉大さに毎回感動させられた。分娩室で

生命誕生の偉大さに感動 研究通し子の自立知る

たし、分もわきまえず肩入れしすぎて毎日がつらかった。そして、経験不足の浅薄な頭で考えた。早産で生まれてきた子を一所懸命育てるよりは、早産しないような妊婦指導や妊娠前からのケアに力を入れるべきだと。そ



江守 陽子

は、分もわきまえず肩入れしすぎて毎日がつらかった。そして、経験不足の浅薄な頭で考えた。早産で生まれてきた子を一所懸命育てるよりは、早産しないような妊婦指導や妊娠前からのケアに力を入れるべきだと。そ

を他の大人と区別するのかわ、なせ、母親でなくてはいけないのか、生物学的親と育ての親は子どもにとって何が違うのか。違わないか、当たり前のはずの母子の関係が、思慮で仕方なかった。28歳の時、母校の千葉

きたいと念じていたわけでもなかったが、ある事象に対して仮説を立てて証明したり、日常の看護行為の科学的根拠を探したり、まるで推理小説を讀み進むようで、結果がどうなるか、わくわく、どきどきするものが多く

1950年生まれ。人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻、看護学専攻教授。千葉大学教育学部卒業。日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻修士。専門は発達支援看護学、母性保健、周産期看護方法など。



石川絢子さんの作品「鳥シリーズ」(つくば美術館で)

て飽きることがない。いろいろな研究を通して感じたことは、健全な社会人となるために母子関係は重要であるが、母親から生まれてきた子どもは愛情をどれだけ注いでも(注がなくても)、やがて自分の意思を持ち、自分で自分の人生を切り開いていき、親の思い通りには育たない、ということだった。

嘉楽太朗(環境デザイン) 古山谷子(建築デザイン) (修士課程) 筑波大学芸術学群 上野(彫塑) 若狭会賞 林匡宏(環境デザイン) 若狭会賞 福田直花(版画) 野田朋子(日本画) 鳥塚篤広(書) 福島かほり(総合造形) 佐野由美子(視覚伝達デザイン)

津賀洋輔(建築デザイン) 篠崎梢(世界遺産) 神田原(世界遺産)

筑波大映像展 24作品の上映行う

アクション写真も公開

本学が制作した映像作品を公開する筑波大映像展と、映画「双龍」の主演監督を務めた黒田朋樹さん(当時専修4年)のアクション写真展が、3月12～16日にかけて、大学会館別館ホールで同時開催された。

筑波大映像展では、双龍のスピノフ作品や、NHK全国放送コンテストで入賞した田中ゆりさん(当時専修4年)の映像作品などが上映された。(20面に関連記事) 15、16日は、つくば市の中野が撮影した「夏色の詩」や本学が制作した70分に渡る長編

人間のような言葉を話せるのだろうか。また彼らの言語能力は、いかに科学的基準を満たす形で査定されるのだろうか。その方法論や評価基準は未だに一致せず、答えは白とも黒ともつかないままである。本書を読むほどに、動物たちをその生息環境から連れ出し、人間の言語を「科学的」に教え込む形で能力を「測定する」ことの不自然さに、違和感を覚えずにはいられなくなった。

は白とも黒ともつかないままである。本書を読むほどに、動物たちをその生息環境から連れ出し、人間の言語を「科学的」に教え込む形で能力を「測定する」ことの不自然さに、違和感を覚えずにはいられなくなった。

本書の続編が生まれるのなら、彼らの生きる世界やコミュニケーションを学んだ人間たちの物語であってほしい。あるいは、多くの野生動物の生息環境の激減や種の絶滅が進むこの時代、その生態系や存在の尊厳を「遠くから暖かく見守る」というコミュニケーションの可能性について探していく物語の方が、いま緊急に必要なのかもしれない。(コンテンポラリー・ブックス・時価) (図情×准教授)

武者小路 澄子

動物との交流に挑んだ軌跡 動物たちと対話する道を探して

動物たちと対話する道を探して』の著者テッド・クレイルは、動物の知性について、理由なく持ち上げることも言下に見下すこともせず、まずは十分に吟味すべきなのではないかと問いかける。そして、驚くべき努力を投じて動物とコミュニケーションをとることを試みた科学者とアマチュアたちの軌跡について、長時間の粘り強い取材を基盤としたドキュメンタリーを描いている。

本書を読むほどに、こうした研究や活動で鍵となっていくのが「言語の問題」であることがはつきりしてくる。動物たちは人間のような言葉を話せるのだろうか。また彼らの言語能力は、いかに科学的基準を満たす形で査定されるのだろうか。その方法論や評価基準は未だに一致せず、答えは白とも黒ともつかないままである。本書を読むほどに、動物たちをその生息環境から連れ出し、人間の言語を「科学的」に教え込む形で能力を「測定する」ことの不自然さに、違和感を覚えずにはいられなくなった。



冬季欧州国際柔道大会

秋本・栗野が優勝

伊部はベルギーで3位 福見、負傷し5位に

柔道



8月に行われる北京オリンピックの選考も兼ねた冬季欧州国際大会が1月26日〜3月2日にかけて、ヨーロッパ9カ国で開催された。本学からは4人が出場し、66キロ級の秋本啓之(当時4年)、73キロ級の栗野靖浩(当時2年)が優勝。栗野は国際大会での優勝は初めて。48キロ級の伊部尚子(同3年)が3位、福見友子(当時同4年)が5位という成績を収めた。オーストリア大会に出場した秋本は、1、2回戦を



秋本啓之



栗野靖浩

押さえて一勝三敗、3回戦を相手の指導2回で勝ち上がった。続く準決勝では、背負い投げで技有りを取り、決勝に進出。決勝の対戦相手はジンディリディ(スギリヤ)。秋本は相手に、組み際の朽木木倒しで有効を先取された。それを取り返すべく果敢に攻め、背負い投げで優勝を決めた。「ほっとした」と秋本は一本を取った直後の気持ちを語る。

続くドイツ大会では、オーストリア大会同様、優勝する意気込みで臨んだ。一回戦でドイツ選手(韓)と対戦したが、背負い投げの力が強く、攻めきれなかったが、ラスト1分、攻め疲れたところを背負い投げの一本で下した。

決勝戦の相手はセイドルメイラ(ドイツ)。相手の体が大きく、栗野は相手をなかなか組み止められな

かった。だが、組み際に内刈りをかけて効果を取った。そのまま両者ポイントが入らず、栗野の優勝が決まった。

試合結果について栗野は「いつの間にか勝っていた」と言い、次の大会については「自分はまだ注目されていなくて、緊張が解けた。全力を出せるようにしたい」と述べた。

ベルギー大会に出場した伊部は3回戦まで一本で勝ち進んだ。次の試合で05年世界選手権優勝者のベルモイ(キューバ)と対戦。激しい攻め合いの末に判定を制し、準決勝に進出した。

準決勝の相手は一度勝ったことのあるラフォンテ(フランス)。伊部は「集中していったつもり」と話すが、相手のペースにのせられたところを投げられ、技ありを取られて敗北した。続く3位決定戦は、相手を振り回してから体落としをかけた。

「3位と負傷した福見は「3位と

け、そのまま寝技で一本を取り、3位となった。伊部は「試合数が多かったが、一試合一試合チャンスを逃さずに攻められたと思う」と感想を述べた。今後については「合選手に戦勝したい」と語った。

フランス大会に出場した福見は3回戦までを順当に勝ち進んだ。準決勝ではジョシュネ(フランス)と対戦。嘉納杯の合宿で手合わせした感触では「勝てる」と思ったという。しかし実際の試合では、試合特有の攻めに手こずった。そして、相手の組み手になつたところに対応が遅れて内股をかけられ、一本で敗北した。その後の3位決定戦ではバッシン(ドイツ)と対戦したが、技をかけるのにのしかかれ、足首を骨折した。何とか試合を続けるも、怪我をした足と逆の足を駆られ、敗れた。

負傷した福見は「3位と

5位では大きな違い。色々な意味で良い勉強にはなった」と話し、「自分のできる限りのことを妥協せずに行いたい」と怪我で十分練習した。

3セットはデュースの末に落としたが、終始安定したプレーを見せ、3-1で快勝した。

翌日は昨年も最終戦で対戦し、敗れた東京ヴェルディ戦。第1セットは終盤逆転される苦しい展開になったものの、サーブスエースで勢いに乗り、25-23と逆転でセットを取った。第2セット以降も要所でサーブスエースやアロツクが決まり、第2セットを25-21で、第3セットを25-20で取り、3-0でストレート勝ちした。

本学 高木英樹准教授(体育)は、新しいハイテク水着の性能評価に携わっている。実験は、被験者が水着のサンダルを着用し、けのびをしたときの速度減少率を測定する。1000回以上の計測を繰り返して、実験データを得た。

競泳ジャパンオープン 水落が50メートル自由形制す

水泳

今季初の全国大会、競泳ジャパンオープン(日本短水路選手権)が、2月23、24日の両日、東京辰巳国際水泳場(東京・江東区)で行われた。本学からは、21人の選手が出場した。

水落夏海(体専4年)が50メートル自由形で優勝。100メートル自由形でも、3位入賞を果たした。200メートル自由形でも、3位入賞を果たした。



水落夏海

では相原佳奈(同4年)が2位、50メートル背泳ぎでは有田真紀(同2年)が3位、及川直樹(当時同4年)は、50メートルバタフライと50メートル自由形で3位入賞を果たした。昨年9月、インカレの50メートルを自己ベストで制した水落。今回はそのタイムを0秒6以上も上回り、優勝した。2月初旬からの2週間、中国でスピード強化を目的とした高地トレーニングを行い、「良い状態で合宿を終え、ジャパンオープンが楽しみだった」と、手ごたえを感じていたという。

4月4-6日にかけて

全国大学対抗サッカーフェス

29大学が本学で対決

サッカー通して交流図る



全国から29の大学が参加する第22回全国大学対抗



筑波大Aチームと札幌学院大学の一戦

は、北京オリンピックの選考を兼ねた、日本選手権に出場する。「そこでも優勝し、北京に出場したい」と意気込みを語った。

サッカークラブが参加する第22回全国大学対抗

サッカークラブが参加する第22回全国大学対抗

本学生が日本人ベスト

陸上

第2回東京マラソン(主催)日本陸上競技連盟、東京都が2月17日に行われ、マラソン女子の部に参加した本学医学部陸上競技部の水谷理紗(医学5年)が、日本人最高の2位に入る活躍を見せた。



水谷理紗

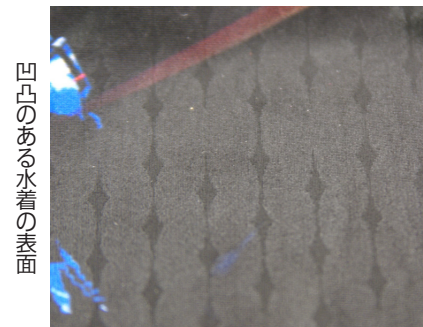
故郷もあって十分に練習できず、スタート前は「完走できれば良かった」と水谷。しかし雷門前をほじめる

沿道の応援に勇気付けられ、自己ベストには及ばなかったものの、2時間48分59秒でゴールした。

スタートして5キロの時点を周りに女性ランナーの姿を見かけなくなったため、自分の順位がどの辺りだったのかは最後まで分からなかったという。ゴールしてから2位だったことを知り、「まさか2位になれるとは思っていなかったの

で嬉しかった」と素直に喜んだ。今後については「早くけがを治し、つくばマラソンを自己ベストで優勝したい」と語った。

紙・馬野野子(社会学専)



凹凸のある水着の表面

2000年、シドニー五輪、手首から足首まで、全身を覆った男性用水着が、世間の注目を集めた。肌を覆う面積を減らし、水の抵抗を少なくするというのが、競泳用水着の常識を覆すものであった。

それが「体を隠す布」であったものが、100分の一秒を争うトップスイマーを後押しするものとなった。シドニー五輪で活躍した水着は、競泳選手だけでなく、一般の水泳ファンにも幅広く受け入れられた。

ハイテク水着の開発がはじまったのは、1992年のバルセロナ五輪からだ。それ以前の水着は、表面が滑らかで撥水性の高いものが主流であった。しかし、流体力学的应用によって、素材の表面に凹凸をつ

スポーツの舞台裏

第一回 水着開発

は、初戦をフルセットの末に制する。その後も着実に白星を重ね、2位以下のチームと勝率を並ぶ5位でつばでのホームゲームに臨んだ。

3月22日は、8位の近畿クラブスフィードと対戦。第1回

3月22日は、8位の近畿クラブスフィードと対戦。第1回

3月22日は、8位の近畿クラブスフィードと対戦。第1回

先端技術で選手を後押し 動きをサポートする水着も

2000年、シドニー五輪、手首から足首まで、全身を覆った男性用水着が、世間の注目を集めた。肌を覆う面積を減らし、水の抵抗を少なくするというのが、競泳用水着の常識を覆すものであった。

それが「体を隠す布」であったものが、100分の一秒を争うトップスイマーを後押しするものとなった。シドニー五輪で活躍した水着は、競泳選手だけでなく、一般の水泳ファンにも幅広く受け入れられた。

ハイテク水着の開発がはじまったのは、1992年のバルセロナ五輪からだ。それ以前の水着は、表面が滑らかで撥水性の高いものが主流であった。しかし、流体力学的应用によって、素材の表面に凹凸をつ

表面に凹凸をつ

表面に凹凸をつ







3Eカフェ

# 低炭素社会をつくる 研究者との交流の場に



懇親会で談笑する参加者

今年の2月7日、本学総合交流会館で第1回3Eカフェが開催され、学生や地域住民など約120人が参加した。

3Eとは環境(エンバイオメント)、エネルギー、経済(エコノミー)の頭文字を表す。同イベントは、昨年開催された3Eフォーラムに倣って企画された。3Eフォーラムは、本学が研究学園都市の連携共同研究開発・事業案として考案した「つくばエコシティー・イニシアチブ」の一環として開かれた。そこで本学や産業技術総合研究所、県や市など6つの機関と数人のアドバイザーで構成される実行委員会が「2030年につくばにおける二酸化炭素排出50%削減を目指す」というつくば3E宣言を発表した。その宣言を受け、3Eカフェは、専門家の間のみで共有されがちな3Eに関する知識やつくばの展望について、幅広く学生や市民と情報共有することを目的と

している。始めに、国立環境研究所主任研究員の藤野純一氏による講演が行われた。テーマは「日本低炭素社会に向けた挑戦」。つくば市は街の構造上、交通の便があまり良くなく、車から排出されるCO2が多いという。藤野さんは「工夫次第で80%のCO2削減も不可能ではない」と話した。講演の後は懇親会が行われ、会場に用意されたお菓子や飲み物を片手に参加者が3Eについて語り合った。参加者の清水智子さん(生資3年)は「CO2削減はゴールではなく、より豊かな社会をつくるための切り口の1つだと感じた」とイベントの感想を語った。次回の3Eカフェは5月31日、6月1日に行われる予定で、ホームページに詳細を掲載していく。

## 筑波山ルネッサンス

# 北条街づくりについて講演 「持続性」が今後の展望に

北条地区の取り組みから地域づくりを考えるシンポジウム「筑波山ルネッサンス」

北条地区の取り組みから地域づくりを考えるシンポジウム「筑波山ルネッサンス」

スガ、2月9日午後、つくばカピオホールで開催された。同イベントは筑波大学主催、つくば市共催で、80人程の聴講者が訪れた。本学からは波多野澄雄副学長(組織・人事担当)や前川啓治教授(現公)ら多数の教員や、本学大学院人文社会科学部研究科博士課程の学生ら数人が参加し、講演を行った。

北条街づくり振興会理事である早川公さん(当時国際4年)は、北条商店街活性化のための岩崎屋の企画・運営について講演した。岩崎屋は明治時代初期に米穀店として創業。5年ほど前から使用されていなかった同店舗を情報発信・地域交流拠点として改修する。

## 5月から開放を再開 屋内プールで安全を図る

昨年2月をもって、休止されていた、屋内プールの一般開放が5月から再開される。毎週水曜日の午後5時から午後6時半まで、開放される見込みだ。利用には登録が必要で、春の健康診断で心電図に異常がないと診断された者に限られる。

昨年1月、サークル活動中の学生が、水中で意識を失うという事故が発生したことから、安全面の見直しを行うため、一般開放を休止していた。同12月に行われた体専のクラス連絡会で、屋内プールの一般開放についての要望が出された。1、2年生

を対象としたアンケートでは、1年生の約7割、2年生の約8割が一般開放を希望していた。また、リハビリや自主練習にプールを使用している学生が多いこともわかった。今回は、水泳を専門とする教員の協力を得られたことから、安全面の見直しを済ませ、開放へと踏み切った。昨年まではアルバイトの学生を監視員として4人配置していたが、今年度からはそれに加え、水泳を専門とする教員が待機する。4人の監視員

### 路線バス経路

農林技術センター前  
陸域環境研究センター前  
第3エリア前  
第2エリア前  
第1エリア前  
大学会館前  
筑波大学西  
平砂学生舎前  
追越学生舎前  
筑波大学病院前  
筑波大学春日キャンパス  
つくばセンター

矢学生舎前  
大学植物見本園  
TARAセンター前  
筑波大学中央  
大学公園  
松美池  
天久保三丁目  
合宿所  
天久保池  
天久保二丁目  
追越宿舎東  
メデイカルセンター病院  
筑波メデイカルセンター前  
筑波大学春日キャンパス  
吾妻小学校前

バス定期	
学生	4200円
教職員	8400円
学内の丸善で販売	

## 筑波学生文芸賞

# 本学生が文芸賞を創設 創作活動の活発化を目指す

学生が運営を行う筑波学生文芸賞が創設された。本学関係者を主な対象に、4月1日から作品の募集を開始した。同賞は学内の創作サークル同士の交流を目的としており、学内には多くの創作サークルが存在するが、互いの交流は少ない。このような現状を憂えるとともに、学生による創作活動を活発化することもねらいの一つだ。

募集作品は原稿用紙80枚以内の小説で、締め切りは6月30日。入賞作品は9月に発表され、豊峰祭で配布される冊子に掲載される。一次選考は7月に予定されており、運営委員会のスタッフが候補作品を5、6本に絞り込む。最終選考は8月で、運営スタッフに加えて一般から公募された選

## 学生論壇 社会への声

意見交換の場や機会に乏しいと感じるこ

永康平(医学4年)

今や医療は水や家屋のように安心、安全な生活を送るには不可欠なものになった。その一方で医療とは非常に曖昧で限界のある存在である。それは人体の圧倒的な複雑さや、個人差に由来している。生命を守ることを第一目的とするならば医療はそれを永遠に遂行し続けることは出来ないし、医療現場では不可抗力なものも含めての障害や死は日常的に起きてくる。これは異常事態でも何でもなく自然な姿である。

## 医療崩壊に理解と議論を

とがある。このことは先に述べた医療の性質や現場の状況の説明や理解の広がりや阻み、相互の認識を薄く「たごとく無関係ではない」と思う。私が所属するプライマリケア研究会での活動の一つに「医療面接」がある。ロールプレイを通じ、抱える問題を相手に伝える難しさ、診断・治療に必要な情報を不足なく引き出していく技法を学ぶ実習だ。この学習を通して私は、自分がいかに人の話を聞き取って聞いているかを知った。話を正確に理解し対策を講じるには相手の背景(社会的立場、生活環境、人間関係、性格)を知ることが不可欠であり、相心の時間を要することに気づいた。医療崩壊と向きあうにも、まずは抱える問題・認識を共有することから始めなくてはならないと思う。そのためには説明と議論を重ねることが不可欠だ。自分と共有していない広大な経験をもった相手の背景を知り、その存在を認めるというのは一筋縄ではいかない作業であり、抵抗を伴うことも少なくないだろう。だが、これらの活動はより自らの視野を大きく広げ、よりよい解決策を見つける助けになると信じている。(プライマリケア研究会・森永康平(医学4年))

### 新聞み告知

## 学生文学界

来月号から、新聞み「学生文学界」が始まります。学生から小説作品を募集し、挿し絵を入れて紙面に掲載します。奮ってご応募下さい。なお、複数の応募があった場合は編集部で選考を行わせて頂きます。ご了承下さい。

【要項】  
 字数: 1000字程度  
 内容: 大学新聞に掲載するにあたって相応しいもの。ジャンルは問わない。  
 5月号締め切り: 4月25日(金)  
 宛先: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp







第34回やどかり祭

模擬店募集 22日まで

第34回やどかり祭(宿舎)団体を募集している。平...

健康診断・体力測定

指定日にもれなく

健康診断 08年度の学生健康診断が4月14-24日に行われる。

体力測定

この期間に測定できる。測定項目は、握力、上体起こ...

「つくば芸術祭」開催

筑波大学芸術系サークル演奏、コーポレーション...

映像の力で平和を目指す

田中さんは名古屋出身。名古屋には中部唯一の国連機関があり、高校...

留学先でメディアの道へ

4月現在、東京大学大学院情報学環に在籍し、映像メディアとアートの可能性を研究している。



「地球を平和にしよう」と思っている。田中ゆりさん(当時国総4年)は、それが人生におけるテーマだと語る。

体育ギャラリー企画

ユニフォームを展示

4月8日から、5棟棟2階に体育ギャラリーがオープンする。

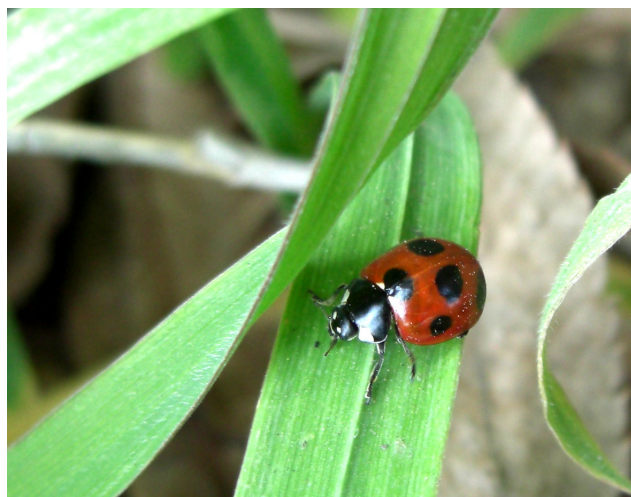
次号は

5月12日(月)

発行予定です

筑波自然図鑑

◇ナナホシテントウ◇



また生き物の気配の薄い3月上旬、フライング気味に動き出したテントウムシを見つけた。意外に思うかもしれないが、テントウムシは成虫のまま越冬し、翌春また活動する。

演奏会

筑波大学管弦楽団第63回定期演奏会 5月17日、開場午後1時15分、開演午後2時。

新歓

第14回天上大風くあなたへ届けたい日本、「つくばの和へようこそ」

大学館書籍部ベストセラー

Table with 3 columns: Rank, Title, Publisher. Lists top 10 best-selling books.

3月の1位はつくばスタイル。9位は、歌手としても活躍する異色の作家、川上未映子の「乳と卵」。